

# 読み聞かせのてびき



この読み聞かせの手引きをよく見える場所に貼っておいてください。



総社市立昭和・維新幼稚園

## 読み聞かせのねらい

幼児期は、絵でものを考える時期です。

絵本は子どもに喜びと楽しみを味わわせ、子どもの心を育てます。

身近な大人に読んでもらうことで、子どもは愛情を感じ、心が安定します。そして、聞くことに集中でき、いろいろな言葉に触れることや絵をじっくり見ることができます。

このことで、子どもの言葉や想像力が育ち、聞く力につながります。

これらの力は、小学校以降の学習の基礎になります。



## 絵本の読み聞かせの前に

- 読み聞かせはできるだけ毎日しましょう。
- テレビを消しましょう。
- おもちゃなどを片付け、聞きやすい環境にしましょう。



読み聞かせの時間      5歳（10分）      4歳（7～8分）      3歳（5分）  
（親子触れ合いの時間も含む）

## 読み聞かせをしているときには

- 身近な大人が読んであげましょう。
  - ・ 大人がひざにだっこしたり、寄り添ったりしながら、スキンシップを兼ねて読んであげましょう。
  - ・ 字が読めるようになったお子さんにも大人が読んであげ、絵を見て楽しませてあげましょう。
- ゆっくりした口調で読んであげましょう。
- 「読んで」と持って来た絵本は同じものでも何度でも読んであげましょう。



## 読み聞かせが終わったら

- 読み終わった後は、感想を求めず、子どもの感じたこと（言葉やつぶやき、表情）を受け止め、書き留めておきましょう。また、心に広がった世界や余韻を一緒に楽しみましょう。
- 決めたところに自分で片付けましょう。